

岩手県知事
達 増 拓 也 様

一般国道107号(川尻・かわしり当楽間)あてらく
改良整備促進に係る要望書



令和4年7月8日

一般国道107号(川尻・当楽間)改良整備促進期成同盟会

一般国道107号(川尻^{かわしり}・当楽間^{あてらく})の改良整備促進に係る要望書

1 現況

一般国道107号(以下「本国道」という。)は、令和3年5月1日に発生した地震の影響等によって、西和賀町大石地区で山側法面に変状が確認(箇所①)され、土砂崩落等の恐れが強まったことから、直ちに全面通行止めの措置がとられ、現在に至っております。

本国道は、平成27年3月にも今回の現場近くで大規模な土砂崩落が発生(箇所②)し、約8か月間もの長期にわたって全面通行止めとなった経緯があります。

2 果たしている役割

本国道は、岩手県と秋田県を東西に結ぶ物流路線となっているほか、県境を越えた経済活動や文化・観光振興などの面で極めて重要な役割を果たしております。

とりわけ西和賀町民にとっては、本国道を利用して生活圏となっている北上市等への通勤や通院、買い物など、日常生活を送るうえで必要不可欠な最も重要な道路であります。

加えて北上・横手間においては、並行する秋田自動車道の緊急時等の代替路として、お互いが補完し合う機能を担っています。

3 課題

平成27年の土砂崩落箇所と今回の災害箇所を含む西和賀町川尻から当楽までの区間には、地滑り地形が数多く分布(図表1参照)しているうえに、急カーブ(箇所⑤)や大型車両とのすれ違いが難しい狭隘なトンネル(箇所④)もあり、加えて冬季にはたびたび雪崩が発生(箇所③)するなど危険箇所が多く、極めて脆弱な道路環境下に置かれています。

とりわけ大荒沢トンネルは、昭和39年に竣工した湯田ダム建設に伴う国道の付け替え工事によって築造されたトンネルであり、老朽化が進んでいるうえ、当時の設計基準による幅員のため、車両が大型化した現在では、安全な通行に支障が生じているのみならず、冬季には大型車両のスタック等による渋滞発生や通行止めの原因となっている状況にあります。

こうしたことを踏まえると、今回の災害復旧事業が完了した後であっても、将来にわたり安心・安全な道路交通が保障されるわけではなく、依然として通行止め等のリスクを抱えている状況に変わりはありません。

また、代替路である秋田自動車道の北上・横手間は、ほとんどが片側1車線であるため、事故や特にも冬期間の積雪による通行止めのリスクが高く、緊急時等における一般道との相互補完機能が発揮されない状況に置かれています。

本国道が通行止めとなった令和3年5月1日から令和4年3月末までの間において、湯田インターチェンジと北上西インターチェンジ間の通行止め

は、上りが延べ20回、時間にして111時間余り、下りで延べ19回、108時間余りと長時間に及んでおり（図表2参照）、この間、直接西和賀町と北上方面を結ぶルートは断絶されてしまい、住民生活に重大な影響が及ぶことになりました。

また、西和賀町の第3セクターの株式会社が運営を行っている「道の駅錦秋湖」内の物産館とレストランは、平成27年の通行止めの際と同様に今回も更に長期に及ぶ営業休止を余儀なくされており、当該店舗の売りに大きく依存している同社の経営にも多大な影響が及んでいるところです（図表3参照）。

このほかにも北上方面からの入込客が減ったことによる売上の減少により撤退を余儀なくされた飲食店が出るなど、コロナ禍とのダブルパンチによって多くの経営体が打撃を受けており、町内経済全体にも深刻な影響が出ております。

4 要望事項

以上のことから、先に閣議決定されている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を確保し、地域経済の早期回復と安心・安全な住民生活の確保のため、本国道に係る下記事項の実現について強く要望いたします。

(1) 本国道（川尻・当楽間）の事業促進と早期開通を図ること

今般採択されたトンネルによる災害復旧事業の実施に当たっては、確実かつ十分な予算確保を図ることで、工事の完成を可能な限り前倒していただき、供用開始時期を早められるよう特段のご尽力、ご配慮をお願いいたします。

(2) 安心・安全を見通せるグランドデザインを示すこと

川尻・当楽間になおも残存する危険箇所や狭隘なトンネル等を含む未改良区間、数多く分布している地滑り地形などへの根本的な対応方針を網羅したグランドデザイン（将来構想）を提示いただき、地域住民や道路利用者が将来にわたり安心して安全な道路交通を見通すことができるよう関係機関の特段のご理解、ご配慮をお願いいたします。

以上

令和4年7月8日

一般国道107号(川尻・当楽間)

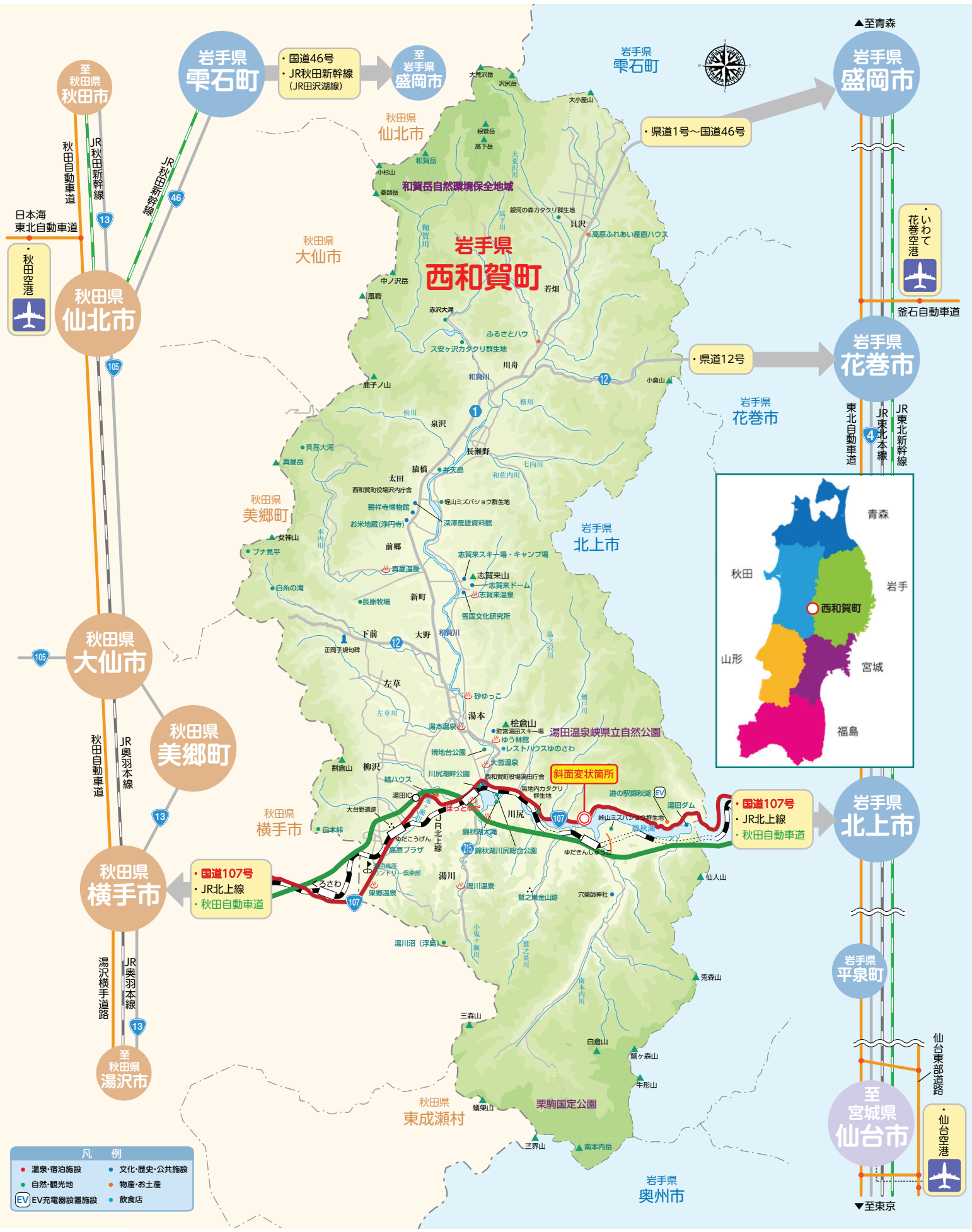
改良整備促進期成同盟会

会長 西和賀町長 内記和彦

【期成同盟会会員】

会 長	西和賀町長	内記	和彦
副会長	北上市長	高橋	敏彦
副会長	横手市長	高橋	大
理 事	北上市議会議長	八重樫	七郎
理 事	横手市議会議長	寿松木	孝
理 事	西和賀町議会議長	高橋	雅一
理 事	横手商工会議所	会頭	渡部 尚男
理 事	よこて市商工会	会長	伊藤 洋二
理 事	西和賀商工会	会長	高橋 卓也
理 事	(一社)北上観光コンベンション協会	会長	八重樫 守民
理 事	(一社)横手市観光推進機構	理事長	奥山 和彦
理 事	(一社)増田町観光協会	代表理事	千田 孝八
理 事	西和賀町観光協会	会長	高鷹 政明
監 事	北上商工会議所	会頭職務執行者・副会頭	佐藤 直也
監 事	(一社)横手市観光協会	会長	打川 敦

位置図



一般国道107号(川尻・当楽間)改良整備要望箇所図

箇所①



箇所②



箇所③



写真提供: 県南広域振興局土木部北上土木センター



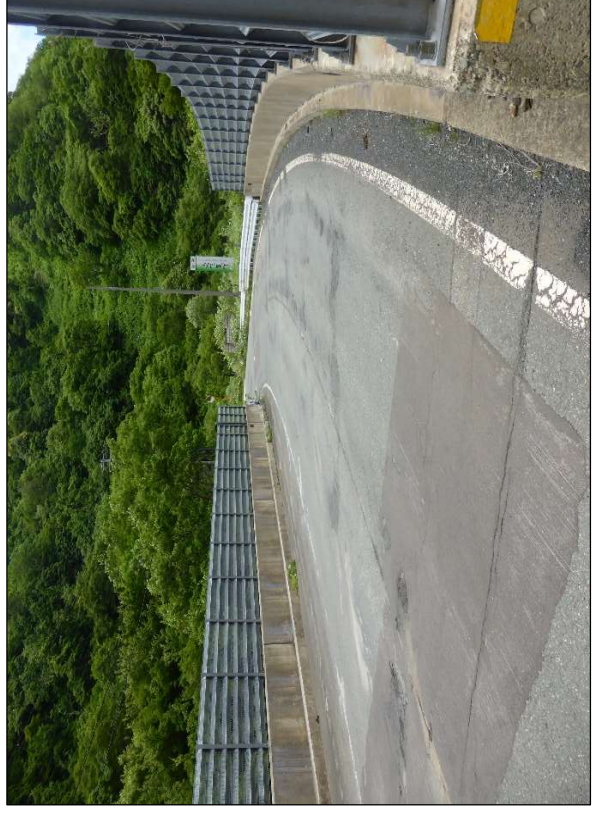
箇所④ 大荒沢トンネル(西和賀側入口)



箇所④ 大荒沢トンネル(北上側入口)

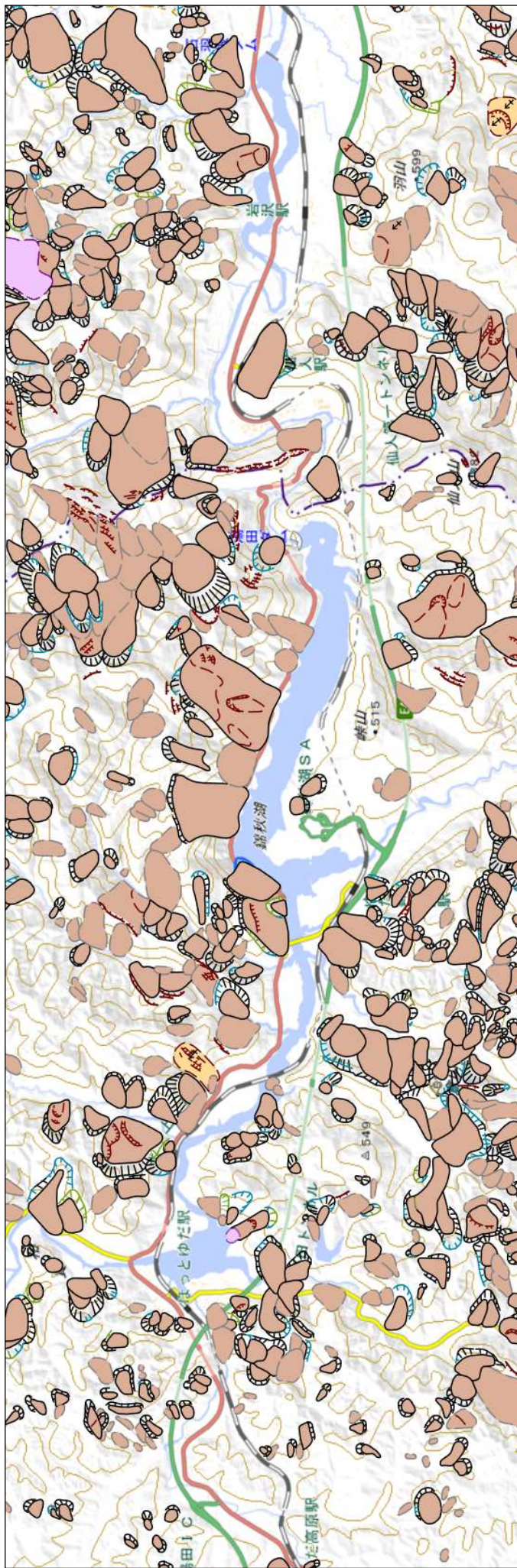























箇所⑤ 急カーブ(西和賀→北上方面)



箇所⑤ 急カーブ(北上→西和賀方面)

【図表1】 錦秋湖周辺の地滑り地形分布(引用:国立研究開発法人防災科学技術研究所『J-SHIS Map』)



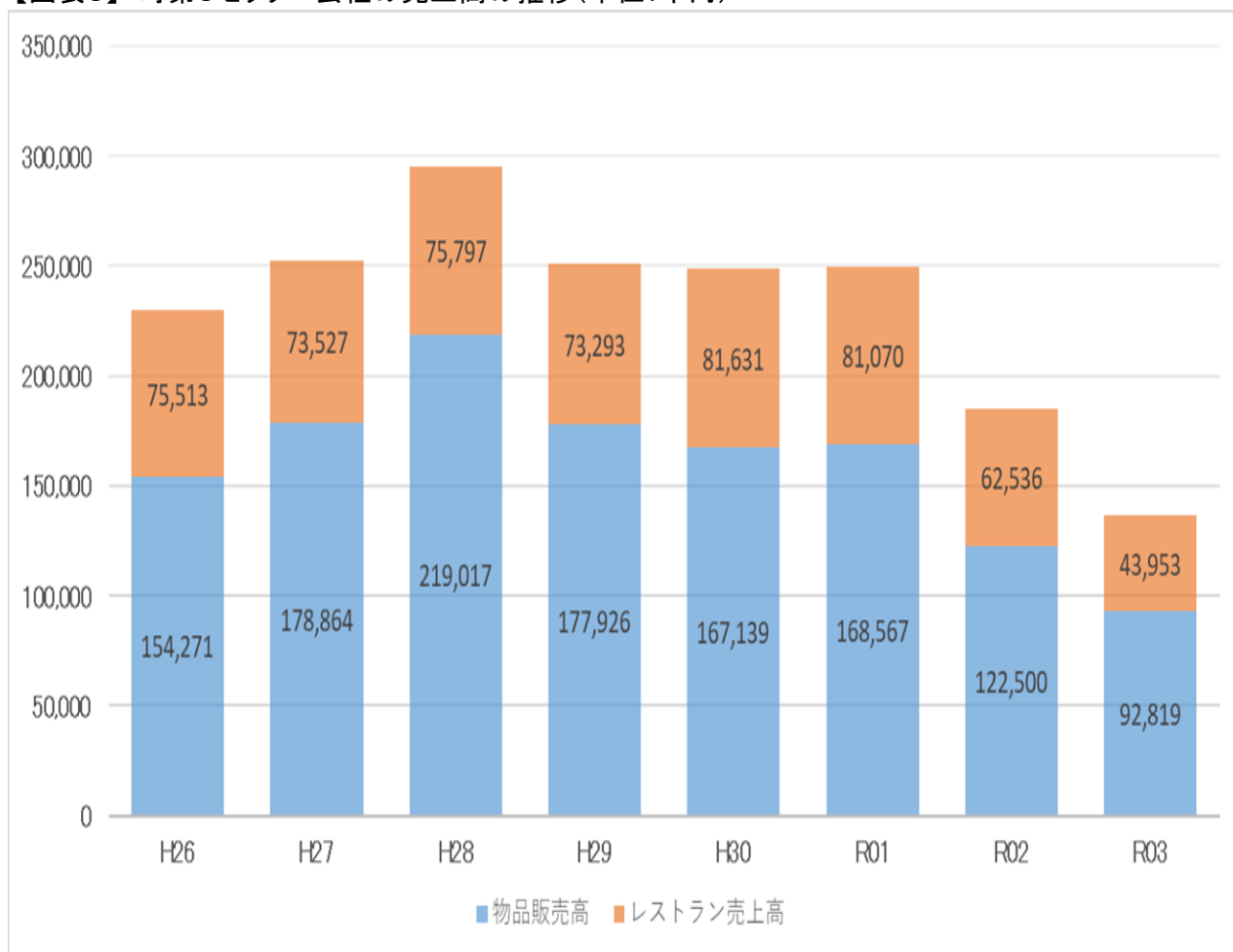
輪郭構造 (滑落崖と刺方崖)	移動体の輪郭・境界	内部構造
 <p>新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖</p>	 <p>後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能</p>	 <p>二次・小滑落崖、崖線の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表す</p>
 <p>部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖</p>	 <p>後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難</p>	 <p>サブユニットの境界、内部 (二次) 移動体輪郭</p>
 <p>冠頂が著しく開析された滑落崖</p>	 <p>滑落崖はほとんど開析されてしまったが、過去の移動体の一部 (不安定土塊) が残存している</p>	 <p>移動体内の小尾根</p>
 <p>冠頂が丸みをおびて不明瞭になった滑落崖</p>	 <p>ほかの移動体や堆積物におおわれた部分</p>	 <p>幅の広い溝状凹地、亀裂</p>
 <p>開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置</p>	 <p>斜面体の移動の初期状態、巖岩から分離していないとしても不安定域、移動域と推定される範囲</p>	 <p>幅の狭い溝状凹地、亀裂</p>
 <p>中・緩斜の流れ出すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面。冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線</p>	 <p>斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘</p>	 <p>雁行亀裂</p>
 <p>後方崖、多重稜線等</p>	 <p>線状窪地・小谷底線</p>	 <p>線状窪地・小谷底線</p>

【図表2】 令和3年度秋田自動車湯田IC・北上西IC間の通行止(東日本高速道路(株)東北支社調べ)

上下区分	通行止開始日	延べ時間	原因
上り 湯田IC↓北上西IC	2021/5/9	1:41	その他
	2021/8/4	1:20	その他
	2021/8/10	2:22	交通事故
	2021/8/14	0:45	交通事故
	2021/9/23	3:32	交通事故
	2021/12/31	4:00	雪
	2022/1/1	7:30	雪
	2022/1/4	0:27	交通事故
	2022/1/4	2:05	雪
	2022/1/12	18:40	雪
	2022/1/13	3:20	その他
	2022/1/14	4:00	雪
	2022/1/28	3:40	交通事故
	2022/2/2	9:00	工事
	2022/2/14	9:00	工事
	2022/2/20	22:10	雪
	2022/3/10	9:00	工事
	2022/3/11	1:55	交通事故
2022/3/19	5:24	雪	
2022/3/20	1:33	その他	
計	延べ20回	111時間24分	
下り 北上西IC↓湯田IC	2021/5/9	1:41	その他
	2021/8/7	1:10	工事
	2021/8/10	2:22	交通事故
	2021/9/23	3:32	交通事故
	2021/12/31	4:00	雪
	2022/1/1	7:30	雪
	2022/1/4	2:05	雪
	2022/1/12	18:40	雪
	2022/1/13	3:00	交通事故
	2022/1/14	4:00	雪
	2022/1/28	2:30	交通事故
	2022/2/2	9:00	工事
	2022/2/14	9:00	工事
	2022/2/20	22:10	雪
	2022/3/6	1:24	交通事故
	2022/3/10	9:00	工事
	2022/3/11	1:55	交通事故
	2022/3/19	5:24	雪
2022/3/20	1:33	その他	
計	延べ19回	109時間56分	

※R107号が全面通行止となったR3.5.1～R4.3.31の抜粋データ

【図表3】 町第3セクター会社の売上高の推移(単位:千円)



◇今回の地滑り災害に係る経緯

- 令和3年5月1日 一関市、釜石市で震度5弱の地震が発生
20:30～全面通行止めを開始
- 5月3日 県からネクスコ東日本に秋田自動車道無料通行措置の要請
- 5月4日 14:00から秋田自動車道（北上西IC～湯田IC間）の無料通行開始
- 5月6日 監視カメラを2箇所を設置
- 5月10日 国の専門家（地質、地滑り、道路構造物、ダム）による現地調査
- 5月11日 県が伸縮計を設置し、WEBでのリアルタイム監視・観測を開始
- 5月15日 湯田ダム管理支所が傾斜計を設置し、監視・観測を開始
- 5月17日 調査ボーリング開始
- 5月25日 西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議設置・第1回会議開催
- 5月26日 天ヶ瀬区（現場の最寄り地区）住民説明会（西和賀町主催）
- 5月28日 西和賀町大石地区斜面変状技術検討会開催
- 5月29日 藤原崇衆議院議員（西和賀町出身）による現地調査
- 6月7日 水抜き横ボーリング開始
- 6月10日 第2回西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議開催
天ヶ瀬区住民説明会（町主催・避難情報等について）
- 6月15日 一般国道107号（川尻・当楽間）改良整備促進期成同盟会設立
岩手県並びに岩手県議会への要望会を実施（要望書提出）
- 7月3日 水抜き横ボーリング9本（3本×3箇所）完了
- 7月5日 国土交通省防災課による現地調査
- 7月7日 岩手河川国道事務所への要望会を実施（要望書提出）
- 7月9日 東北地方整備局への要望会を実施（要望書提出）
- 7月12日 国土交通省、財務省への要望会を実施。岩手県選出国會議員への要望書提出
- 7月14日 第2回西和賀町大石地区斜面変状技術検討会開催

- 7月15日 第3回西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議開催
- 7月20日 天ヶ瀬区住民説明会（西和賀町主催）
- 8月12日 天ヶ瀬区住民説明会（西和賀町主催）
- 8月 天ヶ瀬区住民を対象とした燃料費助成開始
- 8月28日 調査ボーリング15本完了
- 9月2日 天ヶ瀬区住民説明会（西和賀町主催）
- 9月17日 第4回西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議開催
- 9月17日 大石地区応急盛土工事開始
- 10月1日 秋田自動車道錦秋湖サービスエリア緊急開口部を利用した天ヶ瀬区
住民車両の乗入れ開始

一般国道107号秋田岩手連絡会議開催
- 10月14日 天ヶ瀬区住民説明会（岩手県主催）
- 10月20日 第5回西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議開催
- 12月7日 国土交通省、財務省への要望（西和賀町長単独）
- 12月16日 仮橋・鋼管杭製作に着手
- 令和4年2月1～2日 災害査定（採択は保留）
- 2月10日 財務省への緊急オンライン要望（西和賀町長単独）
- 2月24日 災害復旧事業採択（保留解除）
- 3月1日 第6回西和賀町大石地区斜面変状情報連絡会議開催
- 3月8日 天ヶ瀬区住民説明会（岩手県主催）
- 3月31日 大石地区応急盛土工事完成
- 4月22日 マスコミ関係者への現場公開
- 4月27日 天ヶ瀬区工事説明会（北上川ダム統合管理事務所主催）
- 5月20日 一般国道107号(川尻・当楽間)改良整備促進期成同盟会定期総会